



第54号
【年3回発行】
日置地区
社会教育振興会
(事務局)
鹿児島教育事務所

これからが社会教育の出番！
人づくり・つながりづくり・地域づくり
日置地区
社会教育振興会 総会

令和5年5月22日(月)、いちきアクアホールにて、日置地区内の社会教育関係団体や行政、学校、福祉、警察関係の会員31名(委任状含む)が出席して、令和5年度日置地区社会教育振興会総会が開催されました。

総会では中屋会長(井之上洋一)副会長代読)が、「:新型コロナウイルス感染症が『5類』に引き下げられ、これからが社会教育の出番ではないかと考えております。:この社会教育が人づくり、つながりづくりにおいて強みを発揮し、地域づくりに大きく貢献できるようにしていきたい」と挨拶されました。



委嘱状の交付 (代表)

その後、会員を代表して、いちき串木野市PTA連絡協議会長の久保博志氏に井之上副会長が委嘱状を交付しました。協議では令和4年度事業報告や決算、令和5年度事業計画や予算案、新役員等が承認されました。日置地区の社会教育、生涯学習を充実発展させ、ふるさとづくり、人

テーマ
青少年の健全育成及び生涯学習
社会実現を目指す社会教育関係者の役割はどうかあればよいか

- 生涯学習の充実
(1)推進体制の整備
(2)公民館活動の充実
(3)学習活動・学習歴活用の推進



総会の様子

- 社会教育の充実
(1)社会教育諸条件の整備・充実
(2)青少年教育の充実
(3)家庭の教育力の向上

Table with 2 columns: Position (e.g., 会長, 副会長) and Name (e.g., 中屋 謙治, 谷川 敬). Title: 令和5年度新役員 (敬称略)

Table with 3 columns: Date, Day, and Event Name. Title: 令和5年度地区社会教育振興会関係行事

文化財保護の充実
(1)教材としての文化財の活用
(2)文化財担当者等の資質向上

そこには愛があふれています
いちき串木野市教育委員会
社会教育課長 榎並哲郎
課長就任後、数か月が経ち職責の重さと業務の難しさに、NHK大河ドラマの「どうする家康」の様にならぬように進むべき方向を示してくれるものがあります。それは本市内の小中学校の校長先生方が定期的に発行されている「学校便り」です。学校便りは、校長先生の学校経営方針、出来事等を分かりやすく、また、子供たちの日々の様子も生き生きと伝えてくれます。学校や地域の伝統を生かした特色ある教育活動を全職員一緒になって取り組んでいる姿が目につかびます。時には学校の管理者としての葛藤や失敗談など、現実を直視し、ありのままに伝えるという覚悟や気概も感じられます。さらに、子供たちや同じ職場の先生方への温かい眼差しと地域の方々への感謝の気持ちも溢れています。そう、便りには、私が仕事の信条としている愛があふれています。これからも業務で行き詰まった時は、心の支えとしてのお氣にのり学校便りの写しを再読し、一歩ずつ進んでいきたいと思っています。ある日の出来事○月○日午後○時職員A「課長、問題が発生しました。」課長「...」どうする哲郎!



地域再発見！ 史跡めぐり歩こう会

2月18日、史跡めぐり歩こう会が、2年ぶりに行われました。今年、伊集院地区、東市来湯田地区、日吉吉利地区、吹上伊作地区で史跡を巡りました。講師は、歴史を語る会、市文化財保護審議会委員、地域ボランティアガイド、コンシェルジュJr等で分かりやすく説明をしていただきました。

伊集院地域では、伊集院小学校内の地頭飯屋門などの説明を聞いた参加者から「毎日見ている風景にこのような歴史があったとは知らなかった」との感想がありました。

東市来地域では、稻荷神社の国指定天然記念物ヤッコソウの説明を受けて「秋の開花時期にまた見てみたい」との声も聞こえました。

日吉地域では、清浄寺の小松帯刀像が、鹿児島市宝山ホール前の像の原型になったことに多くの方が興味深く聞き入っていました。

吹上地域では、御飯屋跡に以前は伊作小学校や中央公民館があったという説明に驚かれました。



吹上地域「大汝牟遅神社」

今後も多くの方に参加していただき、地域を見直すことで郷土を愛し、文化財を後世に守り継ぐ心を育てていきたいと思えます。

安心して暮らせる地域社会のために 日吉地域生活学校

安全で安心して豊かに暮らせる地域社会を築くために、日吉地域生活学校が頑張っています。

「生活学校」とは、昭和30年代後半から、高度経済成長による大量生産・大量消費社会のひずみが全国で見られるようになったことを受けて、全国の主婦たちが、その解決に取り組み、始まったものです。食の安全・不当な価格表示・ゴミ問題・農薬問題・食品ロス・食を通じた子供の居場所づくり等々、その時代の課題解決に向け取り組んでいます。

日吉地域生活学校では、5月の開

校式から、清掃ボランティア・料理教室・体操教室・EM団子作り・マイバッグ調査・研修視察・Gゴルフ大会・地区交流集会・3月の史跡巡りと閉校式まで、1年を通して活動しています。

会員減少と高齢化が課題ですが、「今のメンバーで、出来ることを無理せず、楽しくやっています」といふことが生活学校の存続につながると思ひ、これからも仲間との交流を大切に、様々な活動を続けていきたいと思ひます。



EM団子作り活動

子ども会活動の充実のために！ 少年団体成人指導者育成研修会

子ども会育成者を対象に、本研修会を、5月14日(日)、市来地域公民館で開催しました。21名の育成者が子ども会の意義等について研修しました。

研修の内容

子供の発達段階と少年団体活動の意義 現在の子供を取り巻く環境や成長段階で欠かせない大切な事項についての講義でした。子供の遊びの変化生活の変化で弊害になり得る問題について学ぶことができました。また、地域で育む豊かな心の大切さも学びました。

子ども会活動の在り方

自然体験の重要性について、実体験に基づく話に、興味深く耳を傾けていました。社会性・自主性を育む子ども会での団体活動の意義について、講義と協議を取り入れた形での講習は、理解し易く、参加者に多くの共感を得ることができました。

子ども会活動について

マンダラートシートを使いグループワークを実施しました。初対面の方との協議でしたが、前の講義の成果で、多くの意見が出ていました=写真。他の子ども会のことを知る良い機会にもなりました。



参加者の感想では、

子供の頃を思い出しました。大人になっても、楽しかった懐かしい思い出としてよみがえってきます。子ども会の重要性を感じます。

行動する力を自分が持たないといけないと思ひます。子供たちと一緒に多くの事を体験していきたい。

公民館活動自体が面倒臭いと思ひていましたが、少し考えが変わりました。

昔は良かったから昔のようにではなく、今の時代に合った子ども会にしていきたいと感じました。

地域で子供を皆で守って、育てていく大切さを改めて感じました。

楽しく遊ぶ意味がよく分かりました。楽しんでもらうことが第一で、そのことで、子供も親も参加しやすいと思ひました。

色々な問題提起をして、楽しかったです。課題を共有できたことが良かったです。

「子ども会」活動は、育成者の理解が十分でないところが課題だと感じました。地域の中で、遊びを通して成長していくことを広く理解してもらえように、市子ども会事務局では、今後も育成者の研修に尽力していきたいと思ひます。

これからは、「持続可能な社会の創り手の育成」
「鹿児島地区社会教育委員及び社会教育担当者等研修会」を6月16日(金)、いちき串木野市いちきアクアホールで開催し、26名の参加がありました。社会教育活動の促進を図るため、講義や実践発表、研究協議をとおして、社会教育委員の役割や当面する社会教育の課題についての研修を行いました。

これからの社会教育委員の役割とは

県教育庁社会教育課長の中村智子氏に「社会教育委員の役割」と題して講義をしていただきました。社会教育行政に地域の意見等を反映させる制度であること



講師の中村智子氏

を踏まえ、地域の様々な教育資源をつなぎネットワーク化する取組の必要性、市町村における社会教育行政の役割、社会教育委員の心得、活動の実践事例等、具体的に指導していただきました。改めて社会教育委員としてこれから何ができるかを考える良い機会になりました。

開かれ、つながる社会教育へ

社会教育の取組を日置市の萩原社会教育課参事と、いちき串木野市の溝上社会教育課長補佐が発表しました。参加者からは、「他市での取組を知ることができた。これまで以上に地域活動へ力を入れていきたい」という感想がありました。

地域をつなぐ社会教育委員として

4名の少人数グループで、社会教育委員の役割について研究協議を深めました。自分たちの地域の課題、その課題解決に向けて社会教育委員として何をやるのか、考えを出し合い、他地域の現状や取組について意見交流を行いました。各社会教育委員の方々ははじめ、関係団体等の連携・協働による地域ぐるみの教育支援が、今後より一層充実することを期待しています。



熱心な研究協議

天然記念物 新たに県指定

令和5年5月2日付で「日置市吹上町の大汝牟遅神社の『千本楠』社叢」が県文化財に新指定されました。

日置市吹上地域宮内の大汝牟遅神社の南側に「千本楠」と呼ばれるクスノキの場所があります。クスノキは最も巨木が多い樹種であり、著大な蒲生の巨木が各地で見られます。狭い範囲に多くの古くは珍しく、地を這うように横へ伸びる巨大な枝が多いのも特徴です。



(写真提供は日置市教育委員会)

日置地区地域女性団体連絡協議会研修会
 (鹿児島地区人権教育ブロック別指導者研修会)



一般社団法人LGBT-JAPAN パートナーズ 児島 希望氏

6月20日(火)、日置市中央公民館で本研修会を開催しました。今年度は鹿児島地区人権教育ブロック別指導者研修会を兼ねて行われ、両市から約80名の参加がありました。

講師の児島希望さんは、LGBTQが「当たり前」の個性として存在すること」を啓発し、LGBTQを特別扱いしない社会をつくることを目的として、多くの学校や行政機関で講演を行っています。

児島さんは、女性の体に生まれましたが、現在は戸籍を変更し男性として生活されています。講演では自分の体験を交えながら



講師の児島希望さん

LGBTQについて分かりやすくお話しくださいました。LGBTQは個性の一つであり、日本でのLGBT人口は10人に1人で多く存在すること、何気なく発した言葉でも誰かを傷つけることがあること等について教えていただきました。参加者からは心揺り動かされた様子が、感想から伝わってきます。

- ❖ カミングアウトした時のお母様の言葉が素晴らしい。
 - ❖ 性に関する講話は初めてでしたが、多様な性、多様な個性を受け入れる社会になるようにしたい。
 - ❖ 自分らしく生きる、素敵な言葉でした。
 - ❖ LGBTQという言葉だけを知っていても、内容は知りませんでした。特別な事ではないんですね。
- 講演を通して、お互いを個性として尊重していくことの大切さを学んだ参加者が多かったです。本研修で高まった人権課題への意識が地域女性関係の学習に拡がり、多くの方々の人権意識の高揚につながることを願っています。

平和への願いを込めて 〜特攻平和祈念祭（黒島）〜

太平洋戦争末期、本土から沖縄方面に向かう特攻機の通過点であった黒島に機体不良などで4機が不時着し、6人が救助されました。島民は彼らを救助し手厚く保護しました。

元海軍少尉の江名武彦氏もその一人で、氏は2004年に戦友の慰霊と平和の祈りを込めて、特攻平和観音像を建立しました。それを機に悲惨な戦争を後世に伝え、恒久平和を発信するために、毎年平和祈念祭が開催されています。コロナ禍の影響で中止や規模縮小が続いていましたが、6月13日、島民や遺族関係者約150人の参列の下、4年ぶりに本格開催されました。

今回は、**県立伊集院高校演劇部**の皆さんが実話を基に、不時着した特攻隊員やその隊員を献身的に看護する島の姉妹などの姿を描いた創作劇「See you tomorrow」を披露し写真。参列者の大きな感動を呼びました。



また、**三島大里学園**、**三島片泊学園**の子供たちも平和への願いを込めて全員合唱や俳句を披露しました。平和祈念祭は平和について考え、語り継ぐ貴重な機会となっています。

子ども会海岸清掃 〜宝島子ども会〜

宝島にはプールがないため、大籠海水浴場で水泳学習を行っています

例年、水泳学習が始まる前に子ども会だけでなく、地域の方々にも協力をいただき大籠海水浴場の清掃作業をしています。今回は作業のしやすい干潮に合わせて5月20日土曜日の14時から行いました。

海岸に集まり、役員からの説明があった後、最初の作業は、海岸に打ち上げられた漂着物の回収です。日本だけでなく、外国から流れ着いたと思われるゴミなども多く、また、昨年の小笠原海底火山噴火による軽石も溜まっており、海が世界と繋がっていることや、環境汚染が全世界に広がっていることなどがよく分かりました。最後は潮が引いた砂浜に、小さなガラスの破片などが落ちていないか見て回ります。

水泳学習で利用したり、夏には多くの観光客も訪れたりして賑わう海水浴場で、気持ちよく泳いでもらえるように全員で頑張りました。



海岸清掃の様子

おかげできれいなビーチになりました。宝島の真夏はもうすぐです。

時代の変化に柔軟に対応した運営を！

鹿兒島地区子ども会育成連絡協議会 総議会

5月12日（金）、鹿兒島地域振興局で、「鹿兒島地区子ども会育成連絡協議会総会」が開催されました。総会では、松尾四男会長の挨拶の後、令和4年度事業報告・決算報告、令和5年度事業計画案・予算案及び役員案が審議され、承認されました。その後、2市2村や地域の取組状況が発表され、

特色ある活動や地域での問題点などが話し合われました。

また、大人が地域ぐるみで子供を育てる積極的な支援が必要であることを確認しました。



総会の様子

床並伸治指導課長の「まとめと指導」ダーウィンの「最後まで生き延びる種は、最も力の強いものではない。最も賢いものでもない。唯一、生き延びる種は変化に最もよく適応するものである」との言葉を引用しながら、「時代や社会の変化に伴い、子ども会の育成、運営については厳しい状況があるが、**変化に柔軟に対応する姿勢**をもちながらお互いに自信と誇りをもち、鹿兒島地区一体となって取り組んでほしい」と話されました。

本年度の役員及び地区子ども会育成連絡協議会の年間行事予定は左記のとおりです。



昨年度の子ども会大会

- 令和5年度子ども会役員**（敬称略）
- 会長 松尾 四男（日置市）
 - 副会長 松下 良照（いちき串木野市）
 - 副会長 長濱 義人（三島村）
 - 監事 内田 美紀（いちき串木野市）
 - 監事 下野 照男（日置市）

月日	主な行事
7月30日	青少年ふるさと美化活動
8月10～12日	第49回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会【鹿兒島開催】 （県立青少年研修センター）
9月15日	鹿兒島地区子ども会育成連絡協議会第2回運営委員会【鹿兒島地域振興局】
12月3日	鹿兒島地区子ども会大会、指導者・育成者研修会【日置市東市来】
12月12日	鹿兒島地区子ども会育成連絡協議会第3回運営委員会【鹿兒島地域振興局】

編集後記

アフターコロナの時代になり、様々な行事が数年ぶりに開催されるようになりました。この3年超の歳月で得られた知識や経験が地域でも生かされ、より一層支え合う社会になるといいですね。今年も地域活性化の一助となるよう情報発信をしていきます。よろしくお願ひします。（事務局 田中）